

政策評価・事務事業評価シート

事業名称 デマンドバス運行委託事業

総務企画委員会

	H26年度予算額	(参考) H25年度決算額	(参考) H24年度決算額
事業費	50,821,000円	41,942,622円	39,176,548円

事業評価チェック表

PLAN	・事業の概要	太田市在住で歩行以外の移動手段を持たない65歳以上の方、障がい手帳をお持ちの方及び生活保護を受給している方を対象に実施。利用は1週間前から前日までの電話予約制。10人乗りワゴン車8台を午前7時から午後4時まで運行。運賃は1回片道100円。停留所数701箇所。(株)矢島タクシーに運行委託。
	・ねらい	毎年利用者が減少し続ける路線バスに代えて平成22年度から導入。利用対象者を高齢者や障がい者で移動手段を持たない方に限定したデマンド方式による小型乗合バスを運行することにより、通院や買い物不便者の解消を図る。
	・予算	50,821,000円
DO	・H25事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・運行車両台数 7台 ・利用登録者数 2,776人(男600人 女2,176人) ・延べ利用者数 25,969人(男4,768人 女21,201人) ・運行委託事業費 41,942,622円 ※1人当たりの運行経費1,615円/回

CHECK	評価項目	評価基準(概要欄の○)		評価点	評価コメント		
	必要性 (市民ニーズ)	きわめて必要性が高い(20点)			15	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を含む移動手段のない高齢者はデマンドバスに頼らざるを得ない。 ・家族から移動援助が受けられない高齢者の増加により、必要性は増している。 	
必要性が高い(15点)			○				
どちらかと言えば必要性がある(10点)							
必要性が低い(5点)							
必要性がない(0点)							
公共性 (市で行わなければならないか)	市が行わないといけない(20点)			15	<ul style="list-style-type: none"> ・民間業者の路線バスは採算が取れず撤退してしまった。 ・ボランティアで行うには法的規制や何か起きたときの責任問題もあり困難である。 		
	公共性が高い(15点)		○				
	どちらかと言えば市が実施(10点)						
	公共性が低い(5点)						
	公共性がない(0点)						
費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	きわめて効果的である(20点)			10	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の路線バスに比べると効果的である。 ・利用者にとっては効果があるが、行政コストだと測れない部分がある。 		
	効果的である(15点)						
	どちらかと言えば効果的(10点)		○				
	どちらかと言えば非効果的(5点)						
	非効果的である(0点)						
優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	きわめて優先性が高い(20点)			10	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスと比較した場合は優先してやるべき。 ・公共交通と福祉・介護タクシー等との隙間を埋める事業であり、バランスを保つ必要がある。 		
	優先性が高い(15点)						
	どちらかと言えば優先性がある(10点)		○				
	優先性が低い(5点)						
	優先性がない(0点)						
成果 (目標の達成状況)	きわめて成果があがっている(20点)			15	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は前年度より増加しており、好評である。 ・時には予約が取れないこともあるが、多くの要望に応えられるように研究をしていただきたい。 		
	成果があがっている(15点)		○				
	どちらかと言えばあがっている(10点)						
	どちらかと言えばあがっていない(5点)						
	成果はあがっていない(0点)						
ACTION	総合評価基準			計	65/100	課題	
	評価	5	きわめて良好である	80点以上		4	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃の改定 ・予約が取りづらい ・登録者数と利用者数との間に大きな差がある。 ・利用対象者への周知
		4	適正である	60~79点	○		
		3	おおむね適正である	40~59点			
		2	問題がある	20~39点			
		1	不適正である	19点以下			

決算事業評価結果表

評価	今後の方向性基準評価(概要欄の○)			評価	決定理由		
	5	「拡充する」				3	<ul style="list-style-type: none"> ・予約の不成立を少しでも減少させる方策を検討 ・利用対象者への周知方法の検討
	4	「現状のまま継続する」					
	3	「改善・効率化し継続する」	○				
	2	「見直しのうえ縮小する」					
	1	「不適正である」					

事業名称	議会評価		特定理由(今後の事業展開)
	総合評価	今後の方向性	
デマンドバス運行委託事業	4	3	本事業は、平成22年度より試行錯誤し、実施されてきた継続事業であり、家族等から移動援助が受けられず、移動手段のない高齢者・障がい者を対象としたおながい市バスは、デマンド方式のフレキシブルな移動手段であり、その利用率は年々高まっている。その一方で、利用が増えるにつれ、予約が取りづらい状況もあるので、その改善が求められている。今後、多くの市民ニーズに応えるため、運行台数等の検討も必要ではあるが、その費用対効果を考えると、現在の運行形態を維持し、さらに効率化できるよう研究していただきたい。